

今週のセルグループ (赤字)			2月22日(日)~2月28日(土)	
セルグループ	次回の日時	場所	人数	前回の証しなど
グレイス 鈴木千姉	2/22(日) 午後5:30	北山宅	2/18 5名	夫の姿を見て、ああやっぱり私は礼拝に行くべきだと強く思われました。
Gospel 鈴木尚姉	2/28(土) 午後7:00	Zoomで 分かち合い	2/14 3名	ミスをしてしまった時も、弱さを認めて祈った後で対処し事なきを得た。
オイコス 磯貝姉	2/22(日) 礼拝後	交わり	2/8 6名	主は祈りに応えてくださっている。少しづつ夫婦の関係が回復させられている。
からし種 磯貝姉	3/12(木) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	2/19 4名	心に怒りが湧いてきた。神様はこれを取り除こうとして語ってくださっている。
ユース 岩下兄	3/1(日) 午後1:30	平岩歩宅	2/18 4名	率先して愛する心を持って接すること必要。やり直すことができることは大きな恵み。
Rock 鈴木洋兄	3/4(水) 午後8:30	鈴木宅	2/18 4名	自分の醜態を明らかにすることに変な抵抗感があるが、謝りたい。祈ってほしい。
シャローム 平岩姉	2/28(土) 午前11:00	平岩宅	2/14 3名	自分の思いではなく神様の御心を喜んで歓迎して前進しようとしている。
リジョイス 杉本姉	2/24(火) 午前10:00	第二教室	2/10 4名	娘や親族や友達に相談してしまうが、まず神様に信頼して祈っていきます。
なつめやし 高橋姉	2/22(日) 練習後	高橋宅	2/8 7名	惜しむ思い、肉の欲望を捨てて、主に信頼することができますようにお祈りしました。
ジョイフルI 穂刈兄	2/26(木) 午前10:00	モチベーション大学	2/5 5名	試練を通して忍耐が生み出され、品性そして希望が与えられることを知りました。
ジョイフルII 穂刈兄	2/24(火) 午後8:30	Zoomで 分かち合い	2/13 5名	必要の満ちし、主がして下さっている。主の働きのためだけに使っていくことを決意。
アガベ 長塚姉	3/1(日) 練習後	交わり	2/8 2名	ずーっとイエス様から目を離していたんだ。いつもイエス様と一緒に生きて行きます。
サクセス 鈴木勝兄	2/22(日) 練習後	交わり	2/8 11名	瞬間的にはイラッときたりするけど真理を知っているのだから立ち返ることができて感謝。
リーダーズ セル	3/11(水) 午後7:00	Zoomで 分かち合い		2月はお休みでした。
ビジョン 平岩恵兄	3/1(日) 午後2:00	LINEで 分かち合い	2/15 2名	仕事の中で弱さを感じるとき神様に申しあげること。後回しにせずやり遂げられた。
worship 長塚寛兄	2/22(日) 礼拝後	長塚寛宅	2/8 2名	必ず神様が助けて下さるんだ。地道にでも喜んでコツコツ行っています。
牧場の羊 平岩姉	2/22(日) 午前8:30	第三教室	2/15 8名	つい簡単なほうに流されてしまう自分の弱さを見つめて、神様により頼んでいきたい。
中学生 梅田姉	2/22(日) 午前8:30	第四教室	2/15 3名	どんな状況でも御手の中にあると感謝して祈った。落ち込むことはなかった。勉強楽しい。
キッズ2 小山姉	2/22(日) 午前8:30	第二教室	2/15 4名	僕って凄いな！と高ぶることがあったけど先週のノートを見て落ち着いて過ごした。
キッズ1 芳井姉	2/22(日) 午前8:30	コイノニアルーム	2/15 5名	自分のこと、ダメばかりって思ってたけど、神様に持ってけいってわかった。
Shine 神谷光姉	2/22(日) 午後3:30	エステル	2/8 3名	神様がいてくださらなければ本当にどうなっていたか。イエス様にお委ねできる事感謝。
ギデオン 芳井兄	3/8(日) 練習後	コミュニティーセンター	2/15 4名	主が共にいないと恐れ反応が色濃くなってしまふ。主とともにいる大切さを感じた。
カルバリ 野田兄	3/3(火) 午前9:30	野田宅	2/17 5名	自分の目の前で起きている問題の根本的な原因は、すべて自分自身にあると教えられた。

クロス 野田兄	3/7(土) 午前9:00	野田宅	2/7 6名	信じたいと思って祈っていてもすぐに沈んでしまう。原因は見えない敵である。
神の家族 伊岐見真姉	2/24(火) 午後9:30	LINEで 分かち合い	2/10 名	中止にしました。
ぶどうの枝 成瀬兄	2/22(日) 午後3:30	Zoomで 分かち合い	1/25 3名	正直な気持ちを神に打ち明け、完全に委ねました。成果を上げることができました。
恵み 菅原姉	3/8(日) 礼拝後	KODAMA	2/15 3名	交わり。15分お願いごとを祈ったらあと15分は神様の声を聞こう。今週やってみよう。
オアシス 蟹江姉	3/4(水) 午前10:00	蟹江事務所	2/15 4名	食事の交わり。近況を聞きつつの交わり感謝。リラクセスした中で話しを聞いて感謝。
Hope 山田邦兄	3/3(火) 午前9:30	第二教室	2/17 3名	なんで!?と神に怒っていました。自分が間違っていて神は正しいと気付きました。

礼拝奉仕	聖日礼拝		祈禱会	
	司会	奏楽	司会	奏楽
今週	2/22(日)	大高愛姉 鈴木千姉 午前10時より	2/26(木)	鈴木尚姉
来週	3/1(日)	大高愛姉 鈴木千姉 午前10時より	3/5(木) 聖餐式	鈴木千姉

- 祈りの課題
- ・人々の救いを覚えて
 - ▶ 家族知人をキリストへ
 - ▶ 教会近隣の人々の救い
 - ▶ 東海地方の救いのために
 - ▶ 日本の救いのために
 - ▶ 世界の救いのために
 - ・プレイヤーハウスの祝福のために
 - ▶ バイブルスタディの働き
 - ▶ リバイバルクワイヤーの働き
 - ▶ リバイバルマズの働き
 - ▶ 那古野アウトリーチの働き
 - ・ギデオン協会の働きのために
 - ▶ 祈禱会の祝福
 - ▶ 日曜礼拝の祝福
 - ▶ 牧師の働き
 - ・セルグループの祝福
 - ▶ LTG人生変革グループの祝福

聖日礼拝	(日曜)	(第一)	午前 10:00~11:30
キッズセル(子供礼拝)	(日曜)		午前 8:30~9:50
日曜礼拝バイブルスタディ	(日曜)		午前11:45~午後1:00 ☆礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ	(第1、第3火曜)	(昼)	午後 1:00~ 2:30
		(夜)	午後 7:00~ 8:30
祈禱会	(木曜)		午後 7:00~ 8:30
特別早天祈禱	(木曜)		午前 6:00~ 7:00



主の御手 週報

NO.1595

2026年2月22日(日) 発行 2月第4週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、(使徒の働き11:21) 大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始 10時
開始 13時30分 (浜松礼拝)

- ・讃美
- ・祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- ・聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- ・讃美
- ・メッセージ
- ・祈り
- ・神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧ください。)
- ・自由献金 (本日は、伝道の働きのための献金が特別にあります。ご意志で自由にどうぞ。)
- ・連絡

お願い

(1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。

(2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄るようにお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年テーマ 今日、私たちの主にとって聖なる日である。悲しんではならない。
[主を喜べ] 主を喜ぶことは、あなたがたの力だからだ。(ネヘミヤ記8章10節)

日曜日は教会へ



主の御手がともにある
名古屋バイブルチャーチ

〒451-0042 名古屋市区那古野2-20-19
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝



「ピリピ4：13
私を強くしてくだ
さる方によって、
私はどんなことでも
できるのです。」

苦手なことがある

だれでも、苦手なものがあると思います。私は昔から数学に苦手意識がありました。しかし本当に苦手なのかということそうでもなく、受験のときには必死で勉強をして良い成績をもらったこともあり、「苦手と思い込んでいたけど、真剣に勉強していないだけだった」と反省した記憶があります。苦手意識のあるものも、実際は真剣に取り組めば、たいていのことはできるようになるのだらうと思います。

しかし、そうわかっていても、「できない」と思うてしまうことが私にはありました。それは、人にわかりやすく話を伝えるということです。普段の生活でも、人との関わりには必要なことですが、説教の奉仕の中で面と向かわされることになりました。

ました。神が行けと言われるところに行き、語れと言われたところに^{とど}留まって福音を語りました。神様は従順に従う者を必ず助けてくださいます。パウロの行くところには力強く福音が広がっていきました。すべきことは、自分が立派なことを語ろうとすることではなく、できない自分のありのまま、ただ主のしもべとして、主が私に語れと命じられていることをただ忠実に語ることに教えられています。

神によってどんなことでもできる

説教の奉仕において主に言われていることは、大きな声で話さないということ、感情を込めて話すこと、人の顔を見て話すことなどです。何年も前から指摘されるたびにその瞬間はやってみても、うまくいかないとすぐにやめてしまうことを繰り返していました。今回その原因が人と比べることに時間を費やしていたことだとわかりました。そして、ただ神様の言われることに、どんなにうまくいなくても、恥をかくても従うことを決心させられました。大きな声で、感情を込めて、人の顔を見て話すことをしていきたいと思います。主に従順に従うところに主が働いてくださり、どんなことでもできることを信じます。（鈴木千史）

なぜ「できない」と思うのか

そこで、なぜ「できない」と思うてしまうのか、と祈り求めていきました。説教のアドバイスを受ける中で、すすめられた本から、自分がなんとなく感じたり、思ったりしていることをことばにすること（言語化）の大切さを知りましたので、「できない」と思うてしまう理由を書き出していきました。「自分は人格者ではない」「理路整然と話すことが苦手」などとことばにしていくと、結局、自分を人とくらべていたのだとわかりました。「わたしの目にはあなたは高価で尊い。（イザヤ43：4）」とみことばが示されて、人と比べていたことを悔い改めました。「できる」と思えるようになることを求めていましたが、このできない自分のありのまま、神様に使っていただけるのだと気づかされました。

主のしもべとして歩む

できないありのままの自分がどうしたら用いられるでしょうか。パウロは、「私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。」と言っています。彼は迫害や病などの苦難にあつて、自身に弱さを覚える中でもいつも神に信頼し、キリストのしもべとしてどこまでも従順に従い

木の講壇と椅子のメンテナンス

先週、倉庫に保管されていた木の講壇と椅子のメンテナンスが、ご奉仕によって行われました。木の講壇と椅子は、教会発足当時に、近所の聖具店の方から教会に贈られたものです。長年使われてきましたが、乾燥のため、所々ひび割れが目立つようになりました。そのため木製家具用のオレンジオイルで油分を補う作業が行われました。まず一度オイルを塗り、乾いてからもう一度塗る作業が奉仕者によって行われていました。オイルが塗られた講壇と椅子はつやが戻って、見た目もあざやかに became。次回使われるときまで倉庫に保管されます。主にあるご奉仕を感謝します。



オイルでつやが戻った木の講壇と椅子